

# 開設から20周年を迎えた生協診療所

生協診療所



# さるかどした

## 念願の医師複数化実現



1991年2月1日開設時の6人のスタッフ。ネクタイの白衣が竹本所長



開根耕作医師。2009年4月から外来中心に診療

**外来診療** 急性期から慢性疾患(高血圧、糖尿病など)まで診療、進行防止、病気の予防、相談、指導等

**訪問診療** 寝たきりなど通院困難な患者さんの自宅に訪問し、在宅での快適な療養生活を援助

### みんなをつくる健康ライフ 生協診療所は三つの医療を中心に



念願の医師の複数化も開根耕作先生、川上里香先生を迎えて実現することができました。

**健診** 特定健診(メタボ健診)、後期高齢者健診、事業所健診、雇用時健診、がん検診(65歳以上の大腸がん、胃がん検診)

※この他に病状により市内の病院等への紹介、在宅タミナル(看取り)、往診などを

生協診療所は本年二月一日開設二十周年を迎えました。職員六名(医師一、看護婦三、事務二名)、外来患者さん一日十数名からの出発でした。現在は、介護事業の展開や組合員増やしの成果もあり、職員は九十名を超え、患者さんも一日百名前後となっております。

### 診療所づくりの原点を忘れずに

理事長・診療所所長 竹本照彦

開設当初掲げた目標は、①安心してかかり易い外来、②健診に力を入れる、③急性・慢性疾患・在宅医療を推進する、④社会保障の充実と明るいまちづくり、などでした。二十周年を迎えた今、引き続きこの原点を忘れずに組合員みなさんと地域のために貢献できるよう努力していく所存です。

診療所のリフォームなど緊急の課題もあり、理事会では「中長期事業計画」の検討も始めました。組合員みなさんのご支援をお願いいたします。

八戸医療生活協同組合  
〒031-0001  
八戸市類家5丁目38-20  
発行責任者 内田弘志  
Tel0178-71-3456

住所変更の際は早めにお知らせください。

診療時間は9:00から17:00。但し、水、土曜日は正午まで、金曜日は18:00までとなります。

徳島から八戸へ来て、もう半年が過ぎました。カイロが離せませんが、ようやく朝晩の冷え込みにも慣れてきたところで

八戸医療生協は、診療所以外にもデイケア、デイサービス、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、入所施設等々、多岐にわたって地域の健康と暮らしを支えています。患者さんやご家族にいちばん近い、それが医療生協です。私もその一員として地域に根ざした健康づくりを手伝っていききたいと思えます。(川上里香)



川上里香医師。2010年8月、徳島県から生協診療所へ

### 子宮頸がんワクチン接種のお知らせ ～生協診療所でも接種できます～

- ◇実施期間 平成23年2月23日から24年3月31日まで
- ◇対象者 中学1年～高校1年年齢相当の八戸市民
- ◇接種回数 3回
- ◇接種費用 1回15,939円  
但し、上記対象者は八戸市助成により無料
- ◇備考 事前の申し込みが必要です。  
生協診療所(44-0278)へお問い合わせください。

### 診療所休診日

(毎月最終土曜日)

月	休診日
3月	26日
4月	30日
5月	28日

(社会保障委員会 小笠原)

国保の保険料(税)を払いきれず滞納した人の家財道具を容赦なく差し押さえる動きが全国の自治体に広がっていると言います。生存権を脅かす非道な住打ちを許さないためにも、秋の日本高齢者大会(青森市)へあなたも一緒に。

☆選ばれる事業所づくり☆  
全国に発信された「デイサービスさるかどした」

全国の医療生協を中心に昨春秋に創立された医療福祉生協連の月刊情報誌「コムコム」二月号に、八戸医療生協「デイサービスさるかどした」(和山博紀所長)が「選ばれる事業所づくり」として掲載されました。八戸医療生協の介護事業所が全国に紹介されたのは初めてです。



職員が利用者宅を訪問し、家族から在宅介護の悩みを聞いたり、相談にのったりします。和山所長は「利用者さんとご家族が在宅で安心していらしていただけるようできるだけ支援していきたい」と決意を語っています。

←「comcom」誌に掲載された「さるかどした」紹介記事

### 虹の旗

東京にレインボという橋があります。国民と国会を橋渡しするのが国会議員の役目。ところが国会議事堂で一着五十万円もする服を着てファッションショーを行ったり、二千万円もの政党助成金をふところに入れても知らん顔、仕分け、仕分けとむちやを通せあこの世もおしまい。仕分けするのは政党助成金じゃありませんか?

わが民医連の顧問・小池晃氏が東京都知事選へ。あのコンクリートジャングルからくらし・命を守る都政実現の絶好のチャンス、参院選挙でのくやしきを見返してやりたいものだ。

民医連は、TPP(環太平洋連携協定)への参加は、単に農業分野の問題だけでなく、看護師や介護士を海外から調達するなど日本の医療・介護制度にいつそうの市場化・営利化をもたらす、国民皆保険制度の崩壊を招くとして反対声明を発表。「開国」「開国」の菅総理、米国主導のTPPで日本は「壊国」ですよ。